■ 本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号 ■

支社	〒	所在地	電話
大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95	☎大阪 06(588)3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19	☎堺 0722(38)1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6	☎高槻 0726(71)0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17	☎河内 0729(62)1131
兵庫支社	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2	☎神戸 078(360)3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1	☎京都 075(311)7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5	☎和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-6	☎姫路 0792(85)2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57	☎豊岡 0796(23)2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34	☎草津 0775(62)5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業センター)	〒526	長浜市南呉服町3-4	☎長浜 0749(62)7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2	☎大阪 06(202)2221

大阪ガス株式会社

【おねがい】

ガスくさいときは、ガス栓を閉め、窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガス支社、サービスショップにご連絡ください。

SAM8474

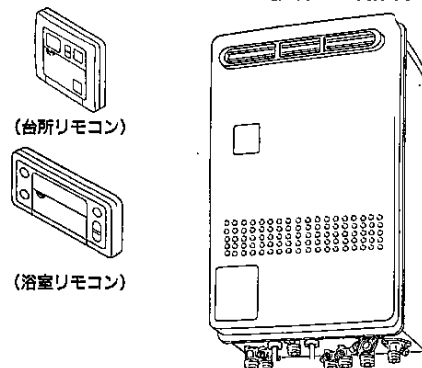
〈9503D〉

ガス給湯暖房機 エックスプリオール・オート PRIOR AUTO

44-450/450R/451/452/453/454型
44-945/945R/946/947/948/949型

〈BL認定品〉 型式名 GTH-163AW
GTH-163AW-L
GTH-163AW-T
GTH-163AW-T
GTH-163AW-TB
GTH-163AW-FF
GTH-243AW
GTH-243AW-L
GTH-243AW-T
GTH-243AW-T
GTH-243AW-TB
GTH-243AW-FF

(台所リモコン)

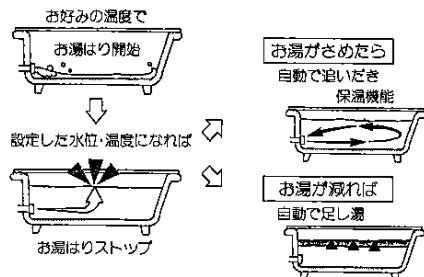
(浴室リモコン)

取扱説明書

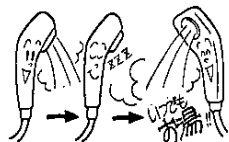
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス

特長

お湯を出す、お風呂を沸かす、暖房するがこれ1台でOKです。

スイッチポンでお風呂が沸かせます。
(☞15ページ)
沸き上がりから4時間の自動保温、足し湯機能。
いつでも沸かしたてのお風呂に入れます。

予約でお風呂が沸かせます。
(☞21ページ)

再出湯時のお湯の温度ムラがなくなりました。
従来品では、シャワー使用時一度止めた後再びお湯を使うと、一時的に水が出たりします。
(これを冷水サンドイッチ現象と呼びます。)
本機器では、新制御方式を採用することにより、シャワーを浴びている時、お湯の温度が変化するという不快感が少なくなりました。

いつでもあなたのそばで、
素敵なお湯生活をお届けします。

機器の機能(はたらき)をフルに活用していただき、
素敵なお湯生活をお楽しみください。

もくじ

必ずお守りください（安全上の注意）

安全に正しくお使いいただくために

取扱いを誤った場合に危害・損害の程度を、つぎのように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

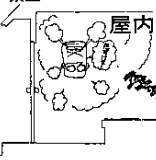
⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に、快適に、使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

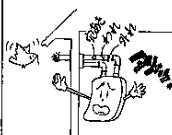
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
内容をよく理解して正しくお使いください。

絵表示	意味	絵表示	意味
⚠	特定しない一般的な警告・注意	⊘	特定しない一般的な禁止
⚠	感電注意	⊘	火気禁止
⚠	高温注意	⊘	接触禁止
●	電源プラグを抜く	⊘	分解禁止

⚠危険

屋内設置の禁止
（44-454・949型を除く）

禁止

●この機器は屋外設置形です。屋内（浴室内含む）への設置は絶対にしないでください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

給排気筒の外れ、穴あき、鳥の巣などのつまり
（44-454・949型について）

●給排気筒が外れていたり、穴があいていないか確認してください。
●給排気筒トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどがつまったりしていないか確認してください。
室内に排気が入って、一酸化炭素中毒の原因になります。

⚠警告

使用ガス、電源の確認

●銘板（ラベル）に表示しているガスの種類（ガスグループ）以外では使用しないでください。
表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼、点火のときの爆発などの原因になります。
●電源はAC100V、50Hzまたは60Hz用です。
他の電源で使用すると、火災・感電の原因になります。

ガス漏れ時の処置

火気禁止

1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。
2. お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡する。

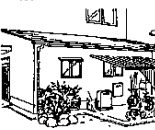
全ての処置が終わるまで
●火をつけないでください。
●電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしないでください。
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

火災の予防

禁止

●機器の上や排気口のまわりに燃えやすい物（新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など）を置かないでください。
火災・爆発の原因になります。

波板囲いなどの禁止
（44-454・949型を除く）

禁止

●この機器は屋外設置形ですので増改築などによって、屋内状態にしないでください。
また、波板などによって囲いをすることもおやめください。
一酸化炭素中毒の原因になります。

周囲の防火措置について

●機器のまわりに燃えやすい物（樹木、木材、箱など）がある場合は、最低限必要な距離をとってください。
火災予防のため。

子供に対する注意

●浴そうの循環口の付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故につながることがあります。
特に小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。

機器の設置・移動工事は

●機器の設置・移動及び付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。
思わぬ事故につながることがあります。

⚠警告

やけどに注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。
やけど予防のため。

●入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。
やけど予防のため。

⚠注意

やけどに注意

●排気口のまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れたりしないでください。
やけど予防のため。
特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。

異常時・緊急時の処置

1. 給湯栓を閉める。(使用中の場合)

2. 運転スイッチを「切」にする。

3. ガス栓・給水元栓を閉める。

●異常時（排気口から煙りが出る、こげ臭いなど）または、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
火災・感電・故障などの原因になります。

感電に注意

●電源プラグは、ぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。

電源プラグは確実に

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

抜き差しはプラグを持って

禁止

●電源プラグの抜き差しはプラグを持っておこなってください。
コードを持って抜くと芯線の一部が断線して、発熱・火災の原因になります。

用途について

●給湯・シャワー、お風呂を沸かす、暖房以外の用途には使用しないでください。
思わぬ事故につながることがあります。

お願い

停電時の処置

●停電したときは、運転が停止します。
●停電後、再通電するとリモコンの時刻表示が点滅表示になる場合があります。
なお、設定した給湯・ふろ温度表示なども、お買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してから使用してください。
（電源プラグを抜いたときも同じです。）

入浴剤や洗剤の注意

●硫黄(イオウ)、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。
入浴剤や洗剤は注意文を十分にお読みになってから、お使いください。
機器の熱交換器が腐食する原因になります。
●入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。

機器・リモコンの分解禁止

●機器・リモコンは絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

リモコンの掃除

●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。
変形する場合があります。
●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
（台所リモコンは防水タイプではありません。）

お風呂沸かし時の注意

●浴そうの循環口を、タオルなどでふさがないでください。
循環不良になり、お風呂沸かしができません。

凍結に注意

●冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。
（☞25ページ）
凍結すると水漏れや、故障の原因になります。

雷時の処置

ぬれた手でさわらないで

●近くで雷の音が聞こえてきたときは、機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源コードが埋め込まれている場合は、元のブレーカを切ってください。
落雷による電子部品の破損を予防するため。

市販の補助用具使用について

●この機器の純正部品以外は使用しないでください。
思わぬ事故につながることがあります。
●水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
●給湯栓の先端に泡沫水栓が内蔵されているものについてはときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
（わからないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス支社に確認してください。）

お願い

長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。

(☞26ページ)

積雪時の注意

●積雪時には排気口の点検、除雪をおこなってください。
　排気口への積雪や屋根から落ちた雪により、排気口がふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

お湯の温度について

●給水温度、お湯の量及び設置条件によりお湯の温度が変化することがありますのでご注意ください。

飲用にお使いのときは

●長時間使わなかった後の使い初めのお湯は、念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用・調理にお使いください。

排気ガスについて

●排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置してください。
　ガラスが割れたり、変色したりする原因になります。

業務用としての使用禁止

●この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。
　いちじるしく機器の寿命が縮まります。

ソーラーとの接続禁止

●ソーラーとは絶対に接続しないでください。
　お湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。
　また機器の故障の原因にもなります。

お湯の量について

●お湯の量を絞りすぎますと消火しお湯が出ない場合があります。

(☞33ページ)

ほこりについて

●砂や綿などのほこりのたちやすい場所には設置しないでください。
・ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

日常のお手入れ

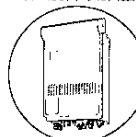
●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
　ゆあかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンとせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

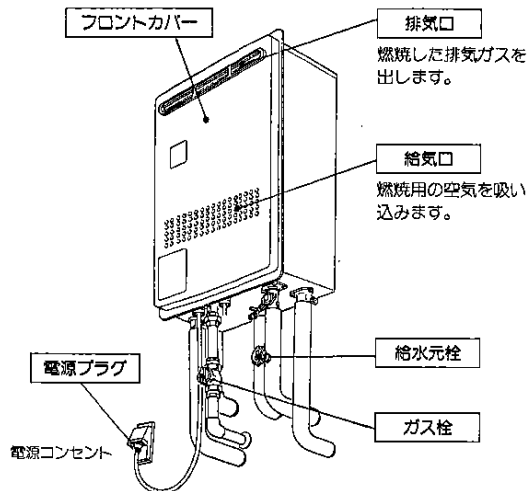
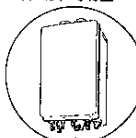
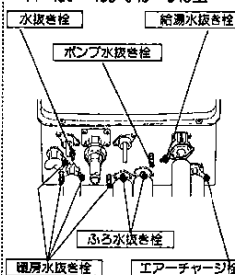
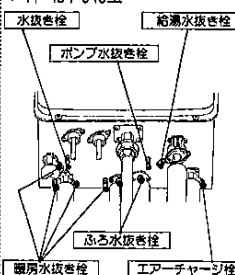
各部のなまえとはたらき-1

機器・リモコンの各部のなまえと位置をご紹介します。

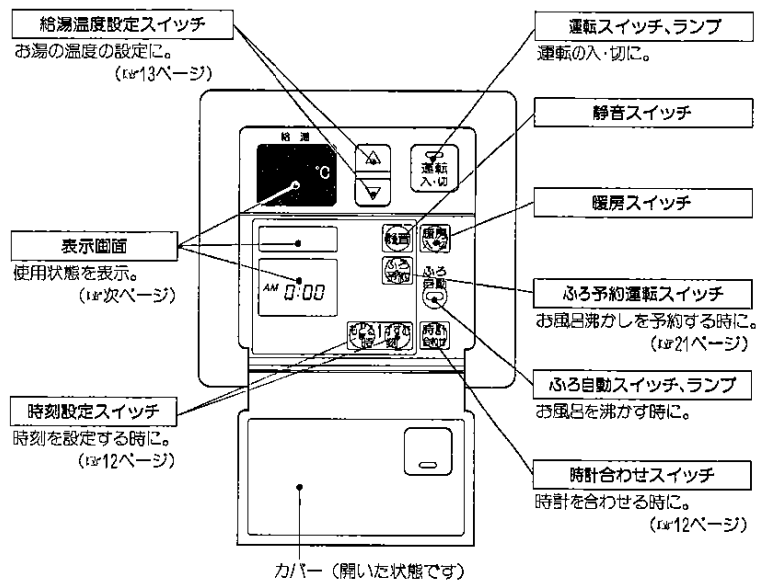
機器本体

●44-450・945型

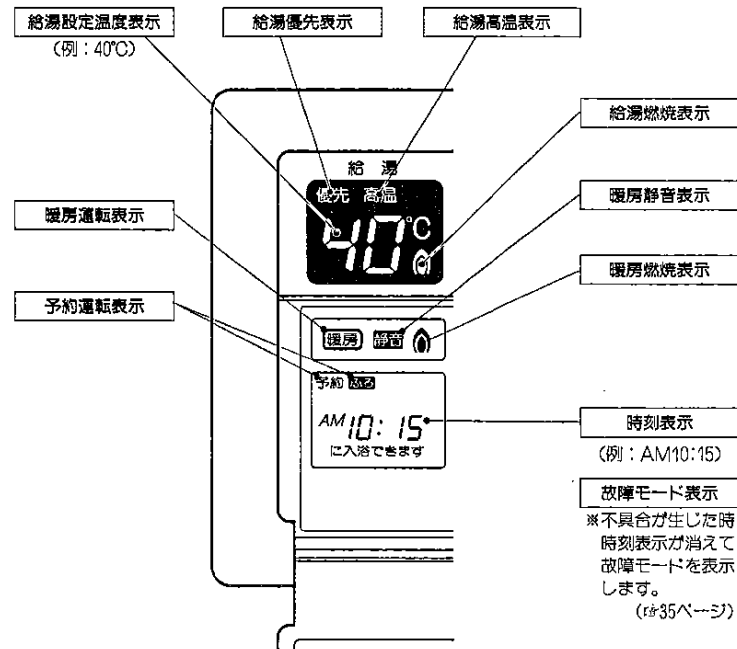
●44-450R・945R型

●44-451・946型
44-452・947型

●44-453・948型

●44-454・949型

各部のなまえとはたらき-2

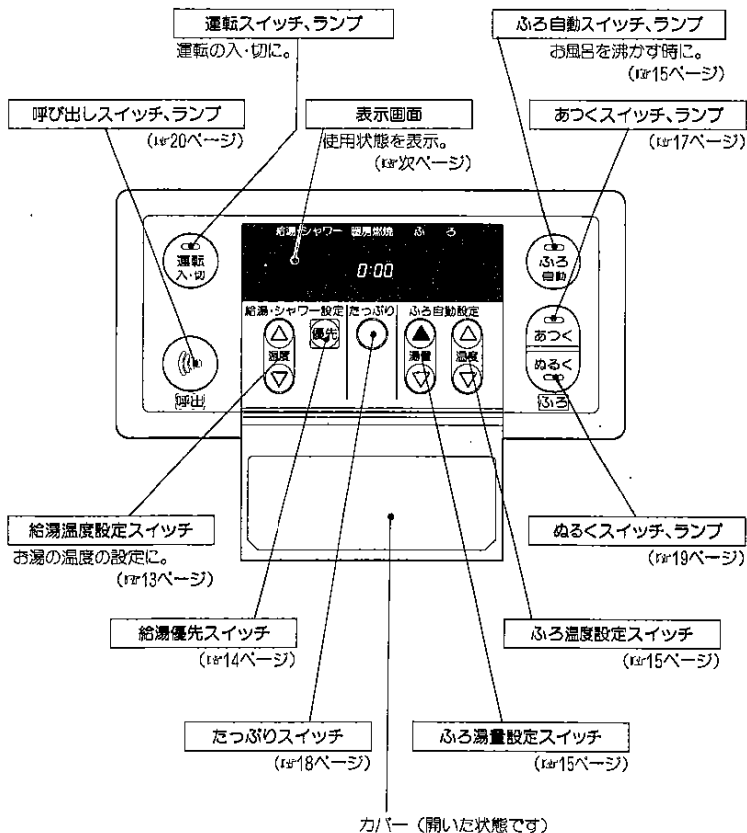
台所リモコン〈付属品〉

(台所などに取り付けます)

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

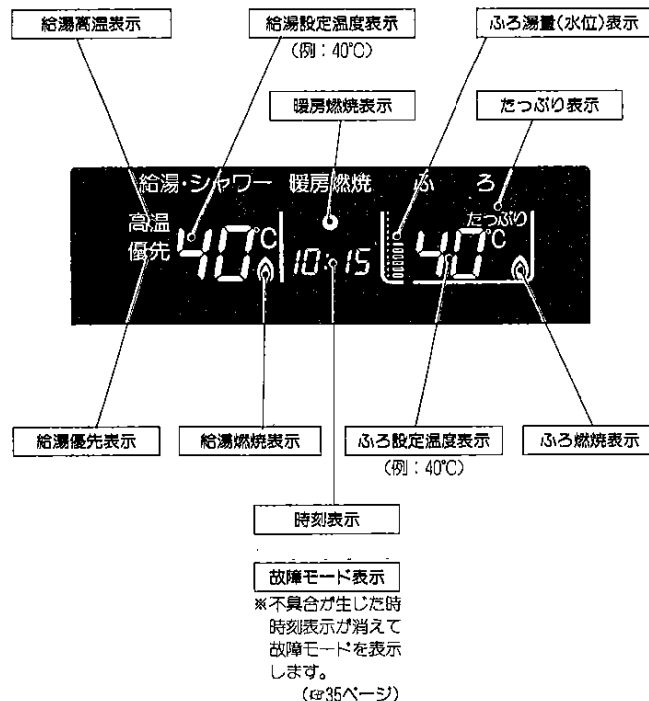
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

各部のなまえとはたらき-3

浴室リモコン〈付属品〉

（浴室に取り付けます）

※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

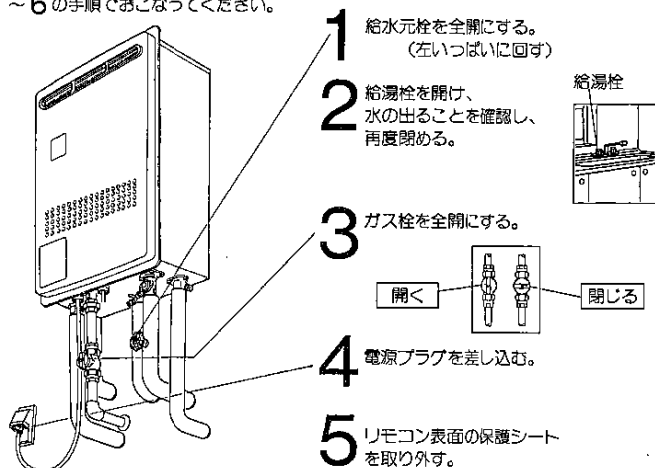
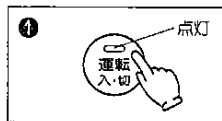
● 1～6の手順でおこなってください。

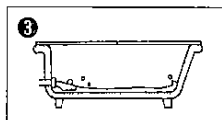
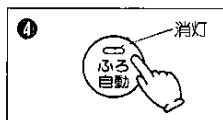
1 給水元栓を全開にする。（左いっぱいに回す）

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。

3 ガス栓を全開にする。

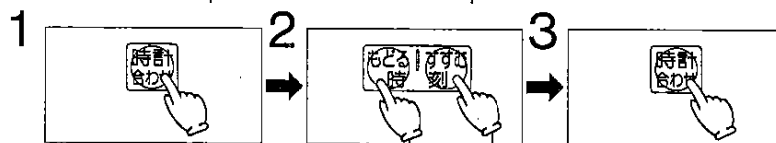
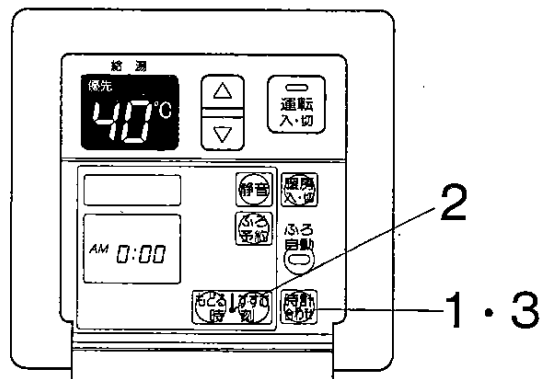
4 電源プラグを差し込む。

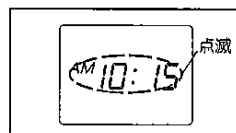
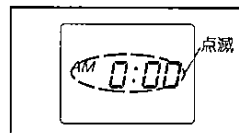
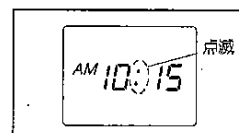
5 リモコン表面の保護シートを取り外す。

6 ポンプの呼び水をする（浴室リモコンで操作）

押す。
ランプが点灯します。

押す。
ランプが点灯します。

浴そうの循環口から、水が出てくることを確認する。

押す。
「ふろ自動スイッチ」を切る。

現在時刻を合わせる

運転スイッチ「入・切」に関係なく設定できます。
（下の画面表示は運転「入」の状態です。）

1 押す。
《AM 0:00》が点滅。

2 時刻が戻る。
時刻が進む。
1度押す毎に1分ずつ変わります。押し続けると10分ずつ変わります。

3 押す。
点滅から点灯に変わり、時計が動き出す。

例、「午前10時15分」のとき

使いかた
お湯の出しかた

お湯の温度を設定して、
お好みのお湯を出しましょう。

ここでは台所リモコンでご説明します。

1

押す。

ランプが点灯します。

前回に設定した温度(例:40℃)

2

〈一度設定すると記憶します。〉

あつくなる
ぬるくなる

温度を調節する。

38～46℃の間は、1度押す毎に1℃ずつ変わります。

優先表示確認　お湯の温度

《優先》を表示しているリモコンでお湯の温度を調節できます。

（目安の温度：℃）

38	39	40	41	42	43	44	45	46	50	60
食器洗いなど	シャワー、給湯など					給湯など			高温	

《優先》を表示していない場合	
操作しているリモコンが	
台所リモコンなら	浴室リモコンなら
運転 入・切 押して切り、再度 運転 入・切 押す。	優先 押す。

お湯の温度を変更しない時

3

給湯栓を開ける。

燃焼表示《 》点灯。

点灯

4

給湯栓を閉める。

燃焼表示《 》消灯。

サーモ付混合水栓の場合、リモコンの給湯温度設定は約10℃アップに設定!!

約40℃のシャワーを浴びたいときは、リモコンの給湯温度設定は50℃にし、サーモ付混合水栓で約40℃（適温）にします。

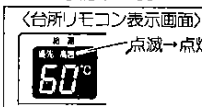
適温!!　適温より10℃高く!!

⚠警告

高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
  やけど予防のため。

- 60℃に設定したときは《高温》の表示が点滅（約10秒）後、点灯してお知らせします。　やけど予防のため。

〈台所リモコン表示画面〉

- 給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。
  やけど予防のため。

お風呂の自動運転のしかた

スイッチポンでお風呂が沸かせます。

お湯はり開始から自動ストップまで、お風呂沸かしは全部おまかせ。
沸き上がりから4時間の自動保温、自動足し湯機能。
いつも沸かしたてのお風呂に入れます。

お好みの温度で お湯はり開始 → 設定した温度・量になれば お湯はりストップ →
お湯がさめたら 自動で追いだき保温機能
お湯が減れば 自動で足し湯
沸き上がりから4時間

運転前の準備
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

お湯はり温度、量を変更しないとき

1

押す。

ランプが点灯します。

2 〈一度設定すると記憶します。〉

温度を調節する。

38℃〜48℃の1℃きざみで調節できます。
（目安の温度）

3 〈一度設定すると記憶します。〉

ふろ自動設定
湯量
ふえる
へる

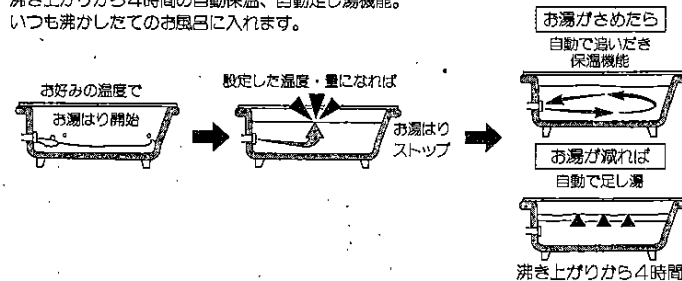
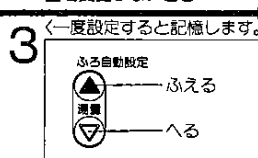
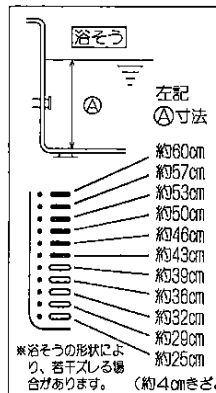
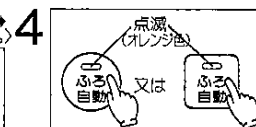
ふろ湯量(水位)を設定する。

浴そう
左記Ⓐ寸法
約60cm
約57cm
約53cm
約50cm
約46cm
約43cm
約39cm
約36cm
約32cm
約29cm
約25cm
（約4cmきざみです。）

※浴そうの形状により、若干ズレる場合があります。

（例）
約50cmに設定のとき　約36cmに設定のとき

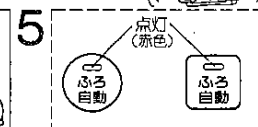
4

点滅（オレンジ色）
ふろ自動　又は　ふろ自動

押す。

●ランプがオレンジ色に点滅し、お湯はりを開始します。

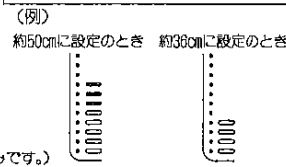
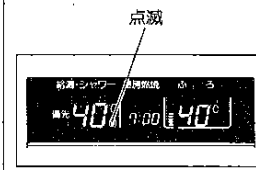
点滅

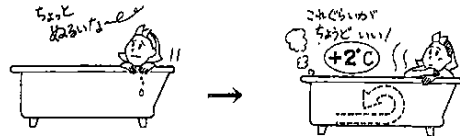
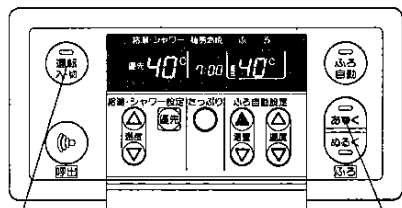
5

点灯（赤色）
ふろ自動　ふろ自動

●お湯はりが終わるとランプが赤の点灯に変わり、ブザーで約10秒間お知らせします。
●約4時間保温・足し湯を続けます。

前日などの残り湯を沸かし直したいとき
●同じ操作でできます。
●お湯が減っていれば、設定したふろ湯量(水位)まで足し湯してから、設定温度に沸き上がります。

ふろ設定温度
（例：40℃）

保温の必要がないときはもう一度 又は ふろ自動 を押す。
（ランプが消灯します。）

使いかた「あつく」(追いだき)運転のしかた

お風呂のお湯の温度を上げたい時に使用します。

「あつく」運転中は、
- 「ふろ自動運転中」は、使用できません。

運転前の準備

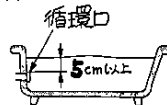
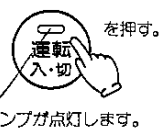
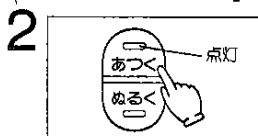
浴そうの循環口上部より5cm以上お湯が入っているか確認する。

1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

を押す。

ランプが点灯します。

2

押す。

- ランプが点灯し、追いだきします。
- 追いだきが終わると、自動的に止まります。(ランプ消灯)

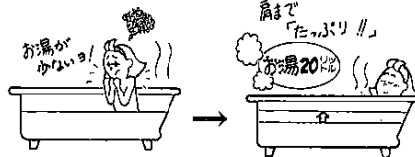
途中で「あつく」運転をやめたいとき

もう一度

を押す。(ランプ消灯)

使いかた「たっぷり」(足し湯)運転のしかた

お風呂のお湯の量を少しふやしたい時に使用します。

スイッチを押すと、約20リットルのお湯がふえます。

「たっぷり」運転は、
- 「ふろ自動運転中」は、使用できません。

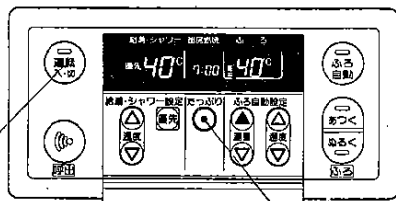
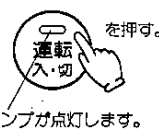
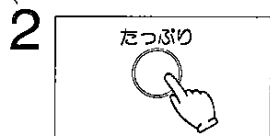
「たっぷり」運転中に、
- 台所やシャワーなどでお湯を使うと、ふろ設定温度のお湯が出ます。

1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

を押す。

ランプが点灯します。

2

押す。

- たっぷり表示が点灯して、お湯を約20リットル足し湯し、自動的に止まります。(お湯の温度は、ふろ設定温度です。)

途中で「たっぷり」運転をやめたいとき

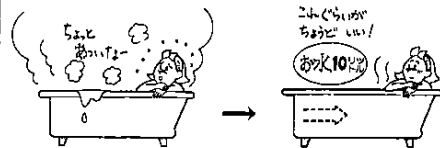
もう一度

たっぷり

を押す。

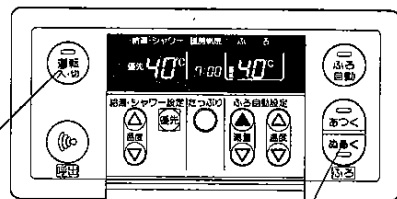
使いかた「ぬるく」(足し水)運転のしかた

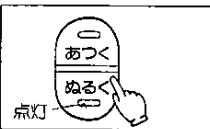
お湯の温度を少し下げたい時に使用します。

スイッチを押すと、約10ℓのお水がはいります。

「ぬるく」運転は、
- 「ふろ自動運転中」は、使用できません。
- 「保温中」は使用できます。

1 運転ランプが点灯していることを確認する。

ランプが点灯していない場合

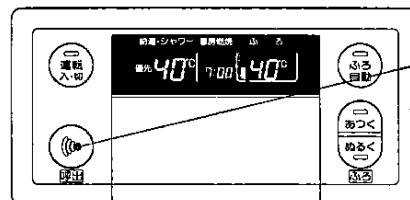
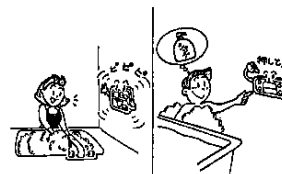
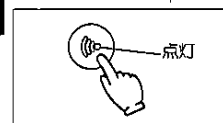
運転 入・切 を押す。

ランプが点灯します。

2

押す。
- お水が約10ℓはいります。
- その後自動的に止まります。(ランプ消灯)

途中で「ぬるく」運転をやめたいとき

もう一度 ぬるく を押す。(ランプ消灯)

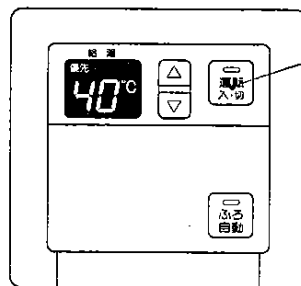
使いかた 浴室からの呼び出しかた

浴室からブザーを鳴らすことができます。

1

押す。
台所リモコンでブザーが約3秒間鳴ります。この間ランプが点灯します。

呼び出しスイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた 操作確認音の消しかた、鳴らしかた

リモコンの「ピッ」という音を消したり、鳴らしたりすることができます。

リモコンは各スイッチを押したとき、正常に動作すると「ピッ」と音がします。
お好みによりこの音を消したり、鳴らしたりできます。
(お買い上げ時は鳴るように設定しています。)

1

消しかた、鳴らしかた(変更するとき)

 を5秒以上押し続ける。

自動運転の時の完了ブザー、呼び出しブザーは、操作確認音を消しても鳴ります。

使いかた

お風呂の予約運転のしかた

予約してお風呂を沸かしたいときに使用します。

お風呂を沸かしたい時刻に設定しておけば、あとはスイッチを押すだけでその時刻にお風呂が沸かせます。

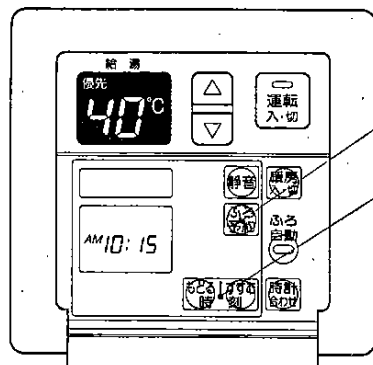
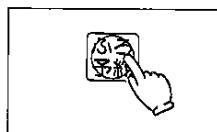
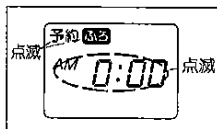
1

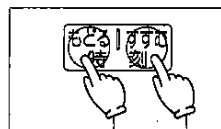
押す。

点滅 予約 ふろ AM 0:00 点滅

運転前の準備

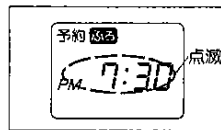
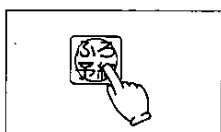
1. 浴そうの排水栓を閉める。
2. 浴そうの循環口に、フィルターが付いていることを確かめる。
3. 浴そうのふたをする。

- 現在時刻があっているか確認してください。（時刻の合わせ方☞12ページ）
- 運転スイッチ「入・切」に関係なく予約運転できます。（イラストは「入」の状態です。）
- 前日などの残り湯（水）があるとき、または、予約運転中に給湯を使用すると、沸き上がり時間が少し遅くなります。
- 予約運転のお湯はり中に、台所やシャワーなどで給湯を使用すると、ふろ設定温度のお湯が出ます。

予約時刻を変更しないとき → 3

2

時刻がもどる。
時刻がすすむ。

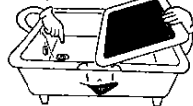
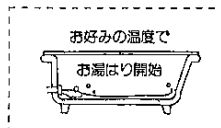
1度押す毎に10分ずつ変わります。押し続けると1時間ずつ変わります。

例、「午後7時30分」のとき

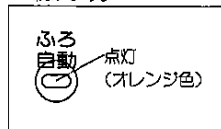
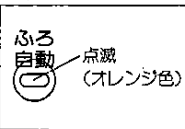
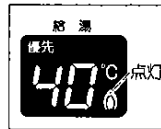
3

押す。

予約時刻の表示が点滅から点灯に変わります。
ふろ自動ランプが点灯します。（緑色）

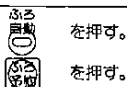
ふろ 自動 点灯（緑色）

（予約待機）下の段へ

4

予約した時刻にお風呂が沸き上がるように自動運転を開始します。（ランプ点滅）
通常は予約時刻の約30分～60分前

5

- お湯はりが終わると自動的に消火し、ブザーで約10秒間お知らせします。
- ランプが点滅から点灯に変わり、約4時間保温を続けます。

予約運転開始後に予約運転をやめたいとき、を押す。

予約待機中に予約運転をやめたいとき、を押す。

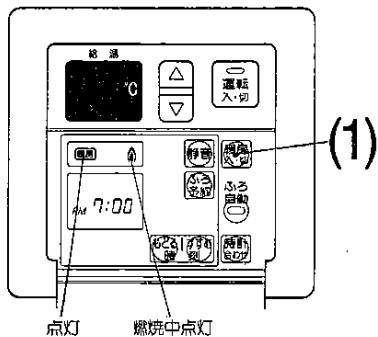
お風呂の予約運転のしかた

使いかた
暖房のしかた

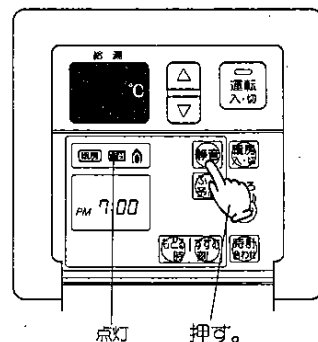
お部屋を暖房することができます。

放熱器
および　で操作できます。
台所リモコン

※〈エックスプリオール・オートシステム〉は、マルチコントロールシステム(各放熱器等からの運転が可能)を採用しています。
- 放熱器等(暖房)の取扱説明書もご覧ください。
- リモコンの運転スイッチの「入・切」に関係なく操作できます。

(1) 暖房スイッチを押す。
※マルチコントロールシステムの場合は不要。

2 暖房する部屋の放熱器等の運転スイッチを「入」にする。

- 放熱器のつまみをお好みの温度に合わせる。

暖房中の運転音が気になるときは

- 静音ランプが点灯し運転音を下げて運転します。

このとき、暖房能力は少し低下します。

途中で静音運転をやめたいとき
もう一度 静音 を押す。
- 静音ランプが消灯し、通常の運転に戻ります。

暖房水の補給について

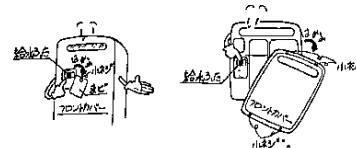
暖房水は自動補給されます。

- 機器右下の補給水弁は、開いたままにしておいてください。
- 万一、機器や放熱器から水が漏れたときには、補給水弁を閉めてください。

やかんなどで補給するときは

- 給水配管がされていないなど、自動補給ができない場合は、次の方法により水を補給してください。(月1回程度)

1. 放熱器の運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. フロントカバーのまどを外す。
(44-454・949型の場合は、
フロントカバーを外す。)
4. 給水ふたを外す。
5. やかん等で注水する。
6. 逆の手順で元の状態にもどす。

44-454・949型の場合

必ず、水道水を使用してください。地下水などを使用すると機器の故障の原因となる場合があります。

使いかた

冬期の凍結による破損予防-1

冬期には機器内の水が凍結し、機器を破損することがあります。
次のいずれかの方法により凍結による破損を予防してください。

1．給湯・ふろ回路の凍結予防

給湯回路について

凍結予防ヒータによる方法

（通常の寒さのとき）

この機器は、気温が下がってくると自動的に凍結予防ヒータが作動して機器内を保温します。

- リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。
- 異常寒波、停電のときは「通水による方法」「機器内の水を抜く方法」で凍結予防してください。

お願い

- 凍結予防ヒータは、電源プラグを抜くと作動しません。
- 機器内の凍結は予防できても、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。（わからないときは、販売店に確認してください。）

通水による方法（異常寒波などのとき）

- この方法は、機器本体だけでなく給水・給湯配管、給水元栓などの凍結も同時に予防できます。

1．運転スイッチを「切」にする。
2．ガス栓を閉める。
3．お風呂の給湯栓より少量の水（1分間に約400cc…太さ約4㎜）を流したままにしておく。

4．流量が不安定になることがありますので、約30分後に再度流れる量を確認する。

お願い

この処置をしても凍結する恐れのある場合には、水抜きをおこなってください。（☞27ページ）

ふろ回路について

ポンプ自動運転による方法

この機器は、気温が下がってくると自動的にふろポンプが回り、機器配管の凍結を予防します。

- リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

お願い

- ポンプ自動運転は、電源プラグを抜くと作動しません
- 水が循環口より5㎝以上あることを確認してください。水がないとポンプが空運転し機器から大きな音が発生します。

機器内の水を抜く方法（異常寒波、長期間使用しないとき）

⚠注意

高温注意

お湯を使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜きの順序（1～9の手順でおこなってください。）

1 浴そう内の水を排水する。

6 すべての給湯栓を全開にする。

5 給水元栓を閉める。（右いっぱいに回す）

4 ポンプ水抜き栓を左に回して開ける。

7 1)給湯水抜き栓、水抜き栓を左にまわして開ける。
2)エアーチャージ栓を左にまわして開ける。
（水抜き栓からお湯又は水が約1100cc出ます。）

3 ガス栓を閉める。 開く 閉じる

9 電源プラグを抜く。（ぬれた手でさわらない）

2 1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)あつくスイッチを「入」にし、循環口より水が出ることを確認し、3分程度そのままにした後、「切」にする。
[2階浴室など浴そうが機器より高い位置にある場合は、ふろ水抜き栓(2ケ所)を左に回して開けた後、あつくスイッチを「入」にし、ふろ水抜き栓より水が出てくることを確認する。]
3)リモコンの運転スイッチを「切」にする。

8 1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
2)自動スイッチを「入」にし、1分程度そのままにした後、「切」にする。
3)ぬるくスイッチを「入」にし、1分程度そのままにした後、「切」にする。
4)リモコンの運転スイッチを「切」にする。

再び使用するまでそのままの状態にしておきます。

冬期の凍結による破損予防-2

機器内の水を抜く方法

（異常寒波、長期間使用しないとき）

再び使用するとき

1. 給湯水抜き栓・エアーチャージ栓・水抜き栓を閉める。
2. 給水元栓を開ける。
3. すべての給湯栓から、水が出ることを確認してから閉める。
4. ふろ水抜き栓（2ケ所）・ポンプ水抜き栓を閉める。
5. ガス栓を開け、電源プラグをコンセントに差し込む。
6. ふろの呼び水をします。
   1)リモコンの運転スイッチを「入」にする。
   2)ふろ自動スイッチを「入」にし、しばらくして浴そうの循環アダプターから水が出てくることを確認する。
   3)ふろ自動スイッチを「切」にする。
   4)すぐに使用しない場合は、運転スイッチを「切」にする。

お願い

機器内の凍結は予防できても、給水・給湯配管、給水元栓などの凍結は予防できませんので、必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。

（わからないときは、お買い上げの販売店または、大阪ガス支社に確認してください。）

凍結したときは

- 凍結した場合は、給湯栓を開いても水は出てきません。解凍を待ってください。
- 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認の上、使用してください。

お願い

- 凍結したまま使われますと、機器に異常が生じる場合があります。
- 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

2. 暖房回路の凍結予防

不凍液による方法

- 暖房回路の不凍液の凍結予防のため大阪ガス指定の不凍液を使用してください。

- 指定以外の不凍液は、機器に悪い影響をあたえる場合がありますので、使用しないでください。
- 不凍液の取扱いについては、不凍液の取扱説明書に記載してある方法で、正しくご使用ください。

暖房低温運転による方法

- リモコンの運転スイッチ「入・切」に関係なく作動します。

1. すべての放熱器の暖房水回路を開けてください。（放熱器の取扱説明書を参照してください。）
2. 外気温が下がってくると自動的に暖房ポンプ運転が始まり、暖房システムの水が循環し凍結を予防します。システム内が暖まると自動的に暖房ポンプ運転が停止します。

日常の点検・手入れのしかた

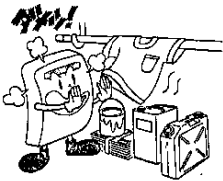
安全にお使いいただくため、点検・手入れを必ずおこなってください。

点検・手入れ

⚠注意

機器を使用後は、排気口のまわりが高温になっています。
機器が冷えてから、点検と手入れをしてください。
やけど予防のため。

高温注意

点　検　(月1回程度)

- ●機器のまわりに燃えやすい物はありませんか。
- ●排気口がふさがっていませんか。
- ●給気口がふさがっていませんか。

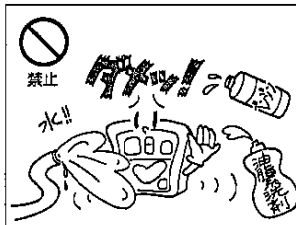
- ●機器および配管から水漏れはありませんか。
  水漏れは機器の故障だけでなく、お隣や階下のお客様にも多大な迷惑をかけます。
- ●機器の外観に異常は見られませんか。

(お湯を使用中に点検)

- ●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。

お手入れ　(月1回程度)

- ●機器の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと十分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤をおつかいください。

お手入れ　(月1回程度)

- ●リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。
  かわいた布でふいた場合、表示画面(液晶部)が乱れることがありますが故障ではありません。しばらく放置しておくともとの状態に戻ります。

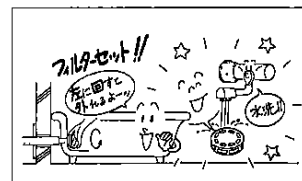
お願い

- ●リモコンの掃除にはベンジンや油脂系の洗剤を使わないでください。変形する場合があります。
- ●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
  (台所リモコンは防水タイプではありません。)

フィルターの掃除　(月1回程度)

1、浴そう内のフィルターセットを左に回して外す。

2、フィルターセットを掃除する。

3、元通り取り付ける。

お願い

フィルターセットを外したまま、または、正常に取り付けられていない状態で使用すると、機器が故障することがありますので、必ず正常に取り付けた状態で使用してください。

故障かな?と思ったら-1

修理を依頼される前に、ちょっとお調べください。

次のことをお調べください

症状	お調べいただきたいこと
●運転ランプが点灯しない。	停電していませんか? 電源プラグが差し込まれていますか?
●給湯栓を開いてもお湯がでない。 ●使用中に消火した。	全開になっていますか? 断水していませんか? 給湯栓は十分開いていますか? 凍結していませんか? ガスメータ(マイコンメータ)が作動していませんか?
●高温のお湯がでない。 ●低温のお湯がでない。	全開になっていますか? リモコンの給湯温度設定は適切ですか?(☞14ページ)

症状	お調べいただきたいこと
●「あつく」運転ができない。 ●「あつく」運転中に消火した。	浴そうの循環口上部より5cm以上お湯または、水が入っていますか? ポンプの呼び水をしましたか?(☞11ページ)
●お風呂のお湯がぬるい。 ●お風呂のお湯があつい。	リモコンのふろ温度設定は適切ですか?(☞15ページ)

故障かな?と思ったら-2

次のような場合は、それぞれ理由があり心配ないものです。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	お答えします
給湯栓を絞りすぎて水になった。	給湯栓から流れるお湯の量が、1分間に約3.5㍑以下になったとき消火します。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
給湯栓を開いてもすぐお湯が出てこない。	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
お湯が白く濁って見える。	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
寒い日に排気口から白い煙りが出る。	冬に、はく息が白く見えるように排気ガス中の水蒸気が白く見えます。

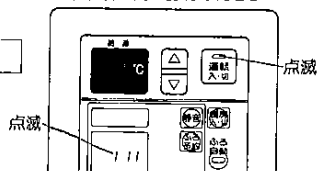
こんな場合	お答えします
運転を停止してもしばらくの間ファンの回転音(ブ〜ン)がする。 ポンプの回転音(ウ〜ン)がする。	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転します。 ふろ追いだき運転終了後、お湯をまぜるためにポンプが約30秒間回ります。
低温のお湯がでない。	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯の温度が高くなります。 ★給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
表示画面(液晶)が乱れている。	リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。(30分以上放置しておくと正常に戻ります。)
表示画面が点滅表示になっている。	停電後、再通電すると表示画面の時刻表示が点滅表示になる場合があります。なお、給湯・ふろ温度表示・ふろ湯量表示などもお買い上げ時の設定に、変わる場合がありますので確認してください。

故障かな？と思ったら-3

リモコンの画面に下記の表示がでたら、修理を依頼される前にちょっとお調べください。

故障モードをお調べください

この機器は不具合が生じたとき、その原因を故障モードで表示(点滅)する機能があります。
下表に応じた処置をおこなってください。
（台所リモコンは運転ランプも点滅します。）

（例）《111》を表示したとき

表示	原因	処置
002	水位設定不良のため	停電後初めて自動運転する時、浴そう内に残り湯がない状態でおこなってください。
011	連続60分以上運転すると／ストップ!!／給湯を連続60分以上運転したため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして、表示が出なければ正常です。
012	連続90分以上運転すると／ストップ!!／ふろ追焚を連続90分以上運転したため	
032	排水栓を忘れてる!!／浴そうの排水栓忘れ	浴そうの排水栓を確認する。
111	給湯側 がつかない!／給湯側炎(燃焼)を検出しなかったため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして給湯栓を開いて、表示が出なければ正常です。
113	ふろ側・暖房側 がつかない!／ふろ側・暖房側炎(燃焼)を検出しなかったため	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にし、あつくスイッチを押して表示が出なければ正常です。
632	ふろ呼び水の不足のため	呼び水をする。（☞11ページ）

下記の場合は、お買い上げの販売店または、大阪ガス支社にご連絡ください。
- 上記以外の表示（例：611など）が出るとき
- 上記の表示が処置しても繰り返し出るとき
- その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

- 31〜35ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、大阪ガス支社に連絡してください。

(N)44-450(U)
大阪ガス株式会社
744 450 08
(FT-244RB-AQ)

連絡していただきたい内容
- 品名………………（右のようなラベルを機器の全面に貼付けてあります。）
- お買い上げ日……（保証書をご覧ください。）
- 異常の状況………（故障モードの表示など、できるだけくわしく）
- ご住所・お名前・電話番号
- 訪問ご希望日

- ハシゴかけ、ヤグラ組み立てをしなければメンテ作業ができない場所に取り付けられますと作業に危険を伴うことが予想されます。このような場合はメンテをお断りする場合があります。（工事店にご相談ください。）

保証について

- この機器には保証書がついています。
  必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。
  保証書の内容をよくお読みになった後は、大切に保管しておいてください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この機器の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。
  なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

- 転居などで機器を移設されるときは、機器に表示（銘板）してあるガス（ガスグループ）・電源（電圧・周波数）が、移設先と合っているか、必ずご確認ください。
  不明の時は、移設先のガス事業所、お買い上げになった販売店または、大阪ガス支社にご相談ください。
- ガス（ガスグループ）などの異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

主な仕様

仕様表

項目		仕様	補足説明
品名		44-945型　44-945R型　44-946型 44-947型　44-948型	当社の製品名
型式名		GTH-243AW　GTH-243AW-L　GTH-243AW-T GTH-243AW-T　GTH-243AW-TB	銘板に記載している名称
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる構造の機器を示す
	設置・給排気方式	屋外式・強制排気式	屋外に設置して用いるもの
点火方式		放電点火式	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	98.1〜981kPa(1.0〜10.0kgf/㎠)	使用できる水道圧
	作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/㎠)	機器が作動する水圧
外形寸法		高さ750㎜×幅480㎜×奥行265㎜	機器の外形寸法
重量（本体）		50kg	機器本体の重量
接続口径	ガス　都市ガス用	20A(R3/4)	各配管との接続口径
	ガス　LPガス用	15A(R1/2)	
	給湯	20A(G3/4)	
	給水	20A(G3/4)	
	ふろ(往き・戻り)	15A(G1/2)	
	暖房(往き・戻り)	20A(G3/4)	
	オーバーフロー	15A(G1/2)	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	機器を使用できる電源
	消費電力	44-945型　44-945R型　44-946〜948型 280/350W　270/320W　280/350W （凍結予防ヒータ214W）	燃焼時（能力大）の消費電力 （凍結予防ヒータ作動時の消費電力）
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	お湯の温度を制御する方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置、空だき安全装置、ポンプ過負荷保護装置	各安全装置の名称

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力（最大時）(ℓ/min)	
	給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス13A	69.5kW (59,800kcal/h)	52.3kW (45,000kcal/h)	17.2kW (14,800kcal/h)	24.0	15.0
LPガス	69.5kW (4.98kg/h)	52.3kW (3.75kg/h)	17.2kW (1.23kg/h)	24.0	15.0

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
※出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
※ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

項目		仕様	補足説明
品名		44-450型　44-450R型　44-451型 44-452型　44-453型	当社の製品名
型式名		GTH-163AW　GTH-163AW-L　GTH-163AW-T GTH-163AW-T　GTH-163AW-TB	銘板に記載している名称
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる構造の機器を示す
	設置・給排気方式	屋外式・強制排気式	屋外に設置して用いるもの
点火方式		放電点火式	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	98.1〜981kPa(1.0〜10.0kgf/㎠)	使用できる水道圧
	作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/㎠)	機器が作動する水圧
外形寸法		高さ750㎜×幅480㎜×奥行265㎜	機器の外形寸法
重量（本体）		49kg	機器本体の重量
接続口径	ガス　都市ガス用	20A(R3/4)	各配管との接続口径
	ガス　LPガス用	15A(R1/2)	
	給湯	15A(G1/2)	
	給水	15A(G1/2)	
	ふろ(往き・戻り)	15A(G1/2)	
	暖房(往き・戻り)	20A(G3/4)	
	オーバーフロー	15A(R1/2)	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	機器を使用できる電源
	消費電力	44-450型　44-450R型　44-451〜453型 280/350W　250/320W　260/330W （凍結予防ヒータ214W）	燃焼時（能力大）の消費電力 （凍結予防ヒータ作動時の消費電力）
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	お湯の温度を制御する方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置、空だき安全装置、ポンプ過負荷保護装置	各安全装置の名称

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力（最大時）(ℓ/min)	
	給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス13A	52.7kW (45,300kcal/h)	35.5kW (30,500kcal/h)	17.2kW (14,800kcal/h)	16.0	10.0
LPガス	52.7kW (3.77kg/h)	35.5kW (2.54kg/h)	17.2kW (1.23kg/h)	16.0	10.0

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
※出湯能力は湯水混合の計算値です。
　但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
※ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

主な仕様

仕様表

品名		44-949型	補足説明 当社の製品名
型式名		GTH-243AW-FF	銘板に記載している名称
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる構造の機器を示す
種類	設置・給排気方式	屋内式・強制給排気式	屋内に設置して用いるもの
点火方式		放電点火式	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	98.1～981kPa(1.0～10.0kgf/cm²)	使用できる水道圧
水圧	作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm²)	機器が作動する水圧
外形寸法		高さ750mm×幅480mm×奥行300mm	機器の外形寸法
重量（本体）		51kg	機器本体の重量
接続口径	ガス 都市ガス用	20A(R3/4)	各配管との接続口径
接続口径	ガス LPガス用	15A(R1/2)	
接続口径	給湯	20A(G3/4)	
接続口径	給水	20A(G3/4)	
接続口径	ふろ(往き・戻り)	15A(G1/2)	
接続口径	暖房(往き・戻り)	20A(G3/4)	
接続口径	オーバーフロー	15A(R1/2)	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	機器を使用できる電源
電気関係	消費電力	290/350W(凍結予防ヒータ214W)	燃焼時（能力大）の消費電力 (凍結予防ヒータ作動時の消費電力)
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	お湯の温度を制御する方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置、空だき安全装置、ポンプ過負荷保護装置	各安全装置の名称

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力（最大時）(ℓ/min)	
	給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス13A	69.5kW (59,800kcal/h)	52.3kW (45,000kcal/h)	17.2kW (14,800kcal/h)	24.0	15.0
LPガス	69.5kW (4.98kg/h)	52.3kW (3.75kg/h)	17.2kW (1.23kg/h)	24.0	15.0

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
※出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
※ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

品名		44-454型	補足説明 当社の製品名
型式名		GTH-163AW-FF	銘板に記載している名称
種類	給湯方式	先止め式	給湯栓の開閉で点火・消火できる構造の機器を示す
種類	設置・給排気方式	屋内式・強制給排気式	屋内に設置して用いるもの
点火方式		放電点火式	放電火花による点火方式
水圧	使用水圧	98.1～981kPa(1.0～10.0kgf/cm²)	使用できる水道圧
水圧	作動水圧	9.81kPa(0.1kgf/cm²)	機器が作動する水圧
外形寸法		高さ750mm×幅480mm×奥行300mm	機器の外形寸法
重量（本体）		50kg	機器本体の重量
接続口径	ガス 都市ガス用	20A(R3/4)	各配管との接続口径
接続口径	ガス LPガス用	15A(R1/2)	
接続口径	給湯	15A(G1/2)	
接続口径	給水	15A(G1/2)	
接続口径	ふろ(往き・戻り)	15A(G1/2)	
接続口径	暖房(往き・戻り)	20A(G3/4)	
接続口径	オーバーフロー	15A(R1/2)	
電気関係	電源	AC100V(50/60Hz)	機器を使用できる電源
電気関係	消費電力	260/320W(凍結予防ヒータ214W)	燃焼時（能力大）の消費電力 (凍結予防ヒータ作動時の消費電力)
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	お湯の温度を制御する方式
安全装置		立消え安全装置、残火安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、誘導雷保護装置、漏電安全装置、空だき安全装置、ポンプ過負荷保護装置	各安全装置の名称

使用ガスグループ	1時間当りのガス消費量（最大消費量）			出湯能力（最大時）(ℓ/min)	
	給湯暖房(ふろ)併用	給湯側	暖房(ふろ)側	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス13A	52.7kW (45,300kcal/h)	35.5kW (30,500kcal/h)	17.2kW (14,800kcal/h)	16.0	10.0
LPガス	52.7kW (3.77kg/h)	35.5kW (2.54kg/h)	17.2kW (1.23kg/h)	16.0	10.0

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
※出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
※ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。